

外国語科 学習指導案

学校名 三次市立甲奴小学校

指導者 HRT 梅田 裕基

ALT Tiashanna Burke

- 1 日時 令和2年 9月17日(木) 第5校時
- 2 学年 第5学年 5名
- 3 単元名 My Hero あこがれの人をしょうかいしよう (Junior Sunshine 5 Lesson 6)
- 4 単元について

○児童観 本学級の児童は、第1学年から英語活動を行ってきた。3, 4学年では、年間35時間の外国語活動を行い、今年度は週に2時間、外国語科を実施している。また、本年度も昨年度に引き続き外国語の教科書や電子教材を用いた学習活動に取り組んでいる。担任やALTとのやり取りでは、積極的に外国語を用いて会話しようとする態度や、ジェスチャーを用いて外国語を楽しみながら対話をする場面が見受けられる。8月に実施した外国語活動に関するアンケート結果では、

質問項目	人数 □/5
外国語科の授業に進んで参加しています。	5/5
英語を使って、コミュニケーションをしようとしています。	5/5
相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば、どのイラストや写真のことを話しているか分かります。	5/5
相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば、だいたいの内容が分かります。	5/5

全ての項目に全員が肯定的回答をした。一方で、「相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば、だいたいの内容が分かります。」という問いに対し、「ややあてはまる」と答えた児童が2人いた。この結果から、本学級の児童は外国語活動に意欲的に取り組んでいるが、外国語を「聞くこと」にやや自信のない児童もいるということが分かった。

○単元観 本単元では、自分があこがれる人や、身の回りのがんばっている人について紹介し合うことで、いろいろな人のよさを知ったり、自分もがんばろうという気持ちをもったりすることを目指している。また、自分が知っている現代社会のさまざまな場で活躍している人々についての知識を生かすこともできる単元である。これまで「自分とあなた」の間での会話が多かった児童が、本単元では第三者について語るができるようになる。小学校高学年は、知的な興味が大きく広がる半面、自我が芽生えて友達との関係がこじれたり、他人と自分を比べて不安を感じたり、といった不安定な側面もある。そんな時期に本単元を学習することにより、自分のロールモデルとなりうる人物を見つけたり、身の回りでがんばっている人に刺激されたり、といった機会を児童に与えることが期待できる。

○指導観 本単元では、自分にとってのヒーローを紹介するポスターを作成し、ALTに発表するという単元ゴールを設定している。指導にあたっては、単元のはじめにゴールを示し、それまでにどのような学習が必要かを児童と一緒に考え、学習計画を立てる。自分たちで計画

することで学習の目的もはっきりとし、毎時間、学習を振り返ることで少しずつゴールに近づいているという達成感や、自身の成長の実感をもたせることができる考える。

聞くことの指導では、聞かせる前に絵などから内容を予想させることで理解の助けとする。また、can や be good at の表現に慣れ親しませるために、チャンツを使って繰り返し取り組ませる。

話すことの指導では、自分にとってのヒーローが伝えられるように、まず教師が発表の見本を見せ、ヒーローの名前だけでなく、特技や人柄も伝えられるようにする。発表をする時は、目線など聞き手に配慮した発表ができるよう留意させる。また、会話を続けるための手法を身に付けていけるように、スモールトークを帯活動として取り入れる。

書くことの指導では、単語カードを用意し、自分にとってのヒーローを発表するために必要な情報を選び、語順を意識しながら書き写す指導を始めていく。また、児童の感覚を大切にしながら、大文字とそれに対応する小文字の形に馴染みをもたせる活動を取り入れる。

5 単元目標

- あこがれの人を紹介する言い方を理解することができる。また、大文字と小文字のルールを理解することができる。 【知識及び技能】
- 自分のあこがれの人を紹介することができる。 【思考力・判断力・表現力】
- 他者に配慮しながら、あこがれの人を紹介しようとする 【学びに向かう力，人間性】

6 新学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ あこがれの人についての話を聞いて、理解することができる。
読むこと	イ 活字体の大文字と、それに対応する小文字を識別することができる。
話すこと (やり取り)	ア 「できること，できないこと」について，伝え合うことができる。
話すこと (発表)	ウ あこがれの人について発表することができる。
書くこと	イ 例を参考にしながら，発表用のメモやポスターを作ったり，身近な単語を4線上に書き写したりすることができる。

7 単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	自分にとってのヒーローを紹介するポスターを作成し、ALT に発表する。
目指す発話例	<p>A: Hello, everyone.</p> <p>A: Look at this picture.</p> <p>A: This is my hero, Shiina Ringo.</p> <p>A: She is a singer song writer.</p> <p>A: She is good at singing.</p> <p>A: She can play the guitar.</p> <p>A: She is my hero.</p>

8 言語材料（下線は新出表現・語彙）

主な表現	主な語彙
<ul style="list-style-type: none"> • <u>Who is your hero?</u> • This is my hero. • <u>[He/ She] is good at</u> (playing tennis). • <u>[He/She] is</u> a good (tennis player). • <u>[He/She]</u> can (cook well). • <u>[He/She]</u> is [kind / cool / great / strong / gentle / active / brave / funny]. 	<ul style="list-style-type: none"> • hero, • 状態・気持ち (active, cool, fantastic, friendly, gentle, kind, brave, strong, tough) • 動作 (swimming, play kendama, play the recorder, play kendo, cooking, play the piano, play volleyball, play judo)

9 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p><知識> he や she などの表現について理解している。</p> <p><技能> あこがれの人の紹介について, He [She] is ~. He [She] can ~. be good at などの表現を用いた特技などの表現を聞き取る技能を身に付けている。</p>	あこがれの人の特技などを理解するために, スピーチや会話を聞いてその概要を捉えている。	あこがれの人の特技などを理解するために, 簡単な語句や基本的な表現を用いたスピーチや会話などを聞こうとしている。
読むこと	<p><知識> 活字体の大文字と, それに対応する小文字について識別している。</p> <p><技能> 活字体の大文字と, それに対応する小文字を識別したり, その読み方を発音したりする技能を身に付けている。</p>	大文字で始まる単語を, 推測しながら声に出して読んでいる。	大文字で始まる単語を, 推測しながら声に出して読もうとしている。

話すこと (やり取り)	<p><知識> he や she などの表現について理解している。</p> <p><技能> Can you ~? I [He/She] can ~. などの表現を用いて、友だちの特技などを伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>友だちの特技を紹介するために、「できること、できないこと」について、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。</p>	<p>友だちの特技を紹介するために、「できること、できないこと」について、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとしている。</p>
話すこと (発表)	<p><知識> he や she などの表現について理解している。</p> <p><技能> あこがれの人について、Can you ~? I [He/She] can ~. などの表現を用いて、特技などを発表する技能を身に付けている。</p>	<p>あこがれの人について発表するために、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。</p>	<p>あこがれの人について発表するために、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとしている。</p>
書くこと	<p><知識> 大文字で書き始める単語についてのルールを理解している。</p> <p><技能> 単語を正しく4線上に書く技能を身に付けている。</p>	<p>あこがれの人を紹介するメモやポスターを作るために、例を参考にしながら、身近な単語を4線の正しい位置に書き写している。</p>	<p>あこがれの人を紹介するメモやポスターを作るために、身近な単語を4線の正しい位置に書き写そうとしている。</p>

10 児童に付けたい資質・能力

活用力	対話力	乗り越える力	思いやり
○課題解決に向けて学習したことの中から、友達の情報から得たことを使って、自分の考えを深めながら表現する。	○自分のヒーローについて、自分の考えをもち、友達の意見と、比較・分類したり関係づけたりしながら対話し、自分の思いや考えを広げる。	○自信をもって発表ややり取りができるようにチャンツやペアトークを通して表現方法を定着させている。	○友達のヒーローについて、興味をもって質問し、反応している。

11 単元指導計画

〈活〉…活用力 〈対〉…対話力 〈乗〉…乗り越える力 〈思〉…思いやり

時	各時間の目標 (◆) と主な活動 (○) 【 】 = 誌面にある活動, 資質・能力〈 〉	評 価			表現例
		知 技	思 判 表	学 評 価 規 準	
1 本	◆「得意なこと」についてたずねたり、紹介したりすることができる。		◎	・「得意なこと」についてたず	・ This is my hero.

時	<p>○Teacher Talk</p> <p>○My Hero についてのスライドを見る。</p> <p>○学習計画を立てる。</p> <p>○本時の学習のめあてをつかむ。</p> <p>【 Let's Chant 】 p.48</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちチャンツをする <p>○音声を聞き、登場人物と動作の絵とを線で結ぶ。</p> <p>○動作について、ペアで得意かどうかを尋ね合う。</p> <p style="text-align: center;"><乗><対></p>				<p>ねたり，紹介したりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ [He/ She] is good at (playing tennis). ・ [He/She] can (cook well).
2	<p>◆ジムのヒーローについての話を聞いて，おおよそ理解できる。</p> <p>○Small Talk：先生のヒーロー</p> <p>【 Let's Chant 】 p.48</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちチャンツをする。 <p>【 Let's Play 1 】 p.48</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席番号で「he / she チェーン・ゲーム」をする。 <p>【 Let's Listen 2 】 p.48</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジムのヒーローについての話を聞く。 <p>【 Let's Watch and Think 1 】 p.49</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラインドサッカーの映像を見て，どのような競技なのかを知る。 <p>【 Let's Play 2 】 p.49</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジムの話 (Let's Listen 2) をもう一度聞いて，キーワードが聞こえたらその絵か写真をタッチする。 <p>○p.96</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応する大文字と小文字を線で結ぶ。 <p style="text-align: center;"><乗></p>	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ヒーローについての話のおおよその内容を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ [He/She] is a good (tennis player). ・ This is my hero. ・ [He/She] is good at (playing tennis). ・ [He/She] can (cook well).
3	<p>◆和矢のヒーローについての話を聞いて，おおよそ理解できる。</p> <p>◆できることについてたずねたり，紹介したりすることができる。</p> <p>○Small Talk</p> <p>【 Let's Chant 】 p.48</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちチャンツをする。 <p>【 Let's Listen 3 】 p.50</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和矢のヒーローについての話を聞く。 <p>【 Let's Watch and Think 2 】 p.51</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Mr. BLACK についての映像を見て，どう 	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・ヒーローについての話のおおよその内容を理解している。 ・「できること」についてたずねたり，紹介したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ [He/She] is a good (tennis player). ・ This is my hero. ・ [He/She] is good at (playing tennis). ・ [He/She] can (cook well).

	<p>いう人なのかを知る。</p> <p>【 Let's Play 4 】 p.51</p> <ul style="list-style-type: none"> 和矢の話 (Let's Listen 3) をもう一度聞いて、キーワードが聞こえたらその絵が写真をタッチする。 <p>【 Let's Play 5 】 p.51</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで互いにできることをたずね合う。 4人組になり、互いのパートナーができることを紹介し合う。 <p>○p.97</p> <ul style="list-style-type: none"> 大文字で始まる単語を書く。 <p style="text-align: right;"><乗><対></p>				
4	<p>◆ハンナのヒーローについての話を聞いて、おおよそ理解できる。</p> <p>○Small Talk : 好きな有名人</p> <p>【 Let's Chant 】 p.48</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちチャンツをする。 <p>【 Let's Play 3 】 p.50</p> <ul style="list-style-type: none"> 気持ちを表すことばで「he / she チェーン・ゲーム」をする。 <p>【 Let's Listen 4 】 p.52</p> <ul style="list-style-type: none"> ハンナのヒーローについての話を聞く。 <p>【 Let's Play 7 】 p.53</p> <ul style="list-style-type: none"> ハンナの話 (Let's Listen 4) をもう一度聞いて、キーワードが聞こえたらその絵をタッチする。 <p>○p.97</p> <ul style="list-style-type: none"> 大文字で始まる単語を書く。 <p style="text-align: right;"><乗></p>	○		<ul style="list-style-type: none"> ヒーローについての話のおおよその内容を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> • [He/She] is a good (tennis player). • This is my hero. • [He/She] is good at (playing tennis). • [He/She] can (cook well). • Who is your hero?
5	<p>◆聞く人に配慮してスピーチを作成する。</p> <p>○Small Talk</p> <p>【 Let's Chant 】 p.48</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちチャンツをする。 <p>【 Let's Play 6 】 p.52</p> <ul style="list-style-type: none"> 得意なスポーツで「he / she チェーン・ゲーム」をする。 <p>【 Let's Listen 5 】 p.54</p> <ul style="list-style-type: none"> 美希のヒーロー紹介を聞いて、話していた内容に○をつける。 <p>【 Let's Read and Write 】 p.54</p> <ul style="list-style-type: none"> ヒーローを紹介する文を聞く。 自分が発表するためのポスターを作る。 <p style="text-align: right;"><活><乗></p>	◎		<ul style="list-style-type: none"> • 聞く人に配慮したスピーチを作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> • [He/She] is a good (tennis player). • This is my hero. • [He/She] is good at (playing tennis). • [He/She] can (cook well). • Who is your hero? • [He/She] is [kind / cool / great / strong / gentle / active /

						brave / funny].
6	<p>◆聞く人に配慮した発表をする。</p> <p>○Small Talk</p> <p>【 Let's Chant 】 p.48</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちチャンツをする。 <p>○ペアでリハーサルをする。</p> <p>【 Let's Try 】 p.55</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分にとってのヒーローについての発表会をする。 <p style="text-align: center;"><対><思></p>		◎	○	・聞く人に配慮した発表をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ [He/She] is a good (tennis player). ・ This is my hero. ・ [He/She] is good at (playing tennis). ・ [He/She] can (cook well). ・ Who is your hero? ・ [He/She] is [kind / cool / great / strong / gentle / active / brave / funny].

12 本時の学習

(1) 本時の目標と授業の流れ

第1時	<p>目 標：「得意なこと」についてたずねたり，紹介したりすることができる。</p> <p>本時でつきたい資質・能力：対話力，乗り越える力</p> <p>準備物：デジタル教材，ワークシート，単語絵カード，振り返りシート，電子黒板</p>			
過程	児童の学習活動	指導者の支援		・指導上の留意点等 ◆評価
		T 1 (担任)	T 2 (ALT)	
導入	<p>① 挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習リーダーが前に出て挨拶をする。 <p>② Teacher Talk</p>	<p>○挨拶をする。</p> <p>○Teacher Talk</p>	<p>○Greeting</p> <p>○Teacher Talk</p>	<p>・あこがれの人の紹介を聞いたり，紹介したりする 単元であることをつかませる。</p>
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T1: Hello, Ms. Burke. T2: Hello, Mr. Umeda. Who is your hero? T1: Look at this picture. This is my hero, Shiina Ringo. She is a singer song writer. She is good at singing. She can play the guitar. She is my hero.</p> </div>			

<p>展 開</p>	<p>③ My Hero についてのスライドを見る。</p> <p>④ 学習計画を立てる。</p> <p>⑤ 単元ゴールと本時の学習のめあてをつかむ。</p>	<p>○これから学習することに関するスライドを見ることを伝える。</p> <p>○単元ゴールに向けて必要な力やそのための活動を児童から引き出す。</p> <p>○本時のめあてを読む。</p>	<p>○View the Power Point.</p> <p>○ Have them plan their learning.</p> <p>○Read the aim of this time.</p>	
	<p>単元ゴール 本時のめあて</p>	<p>自分にとってのヒーローを Tiashanna 先生に発表しよう。</p> <p>得意なことを伝えるには？</p>		
	<p>⑥ 音声を聞いて、登場人物と動作の絵とを線で結ぶ。 (We Can!1 p.68 Let's Listen1)</p> <p>⑦ 8種類の動作について、ペアで得意かどうかを尋ね合う。</p> <p>⑧ 【Let's Chant】 He / She の表現に慣れさせるためにチャンツで表現を練習する。</p>	<p>○初めに音声を流す。その後、ALT にゆっくりと読んでもらい、答えの確認をしながら、動作について児童に Are you good at ~? と問いかけ、この表現の使い方を理解させるようにする。</p> <p>○ペア同士で 8種類の動作について相手が得意かどうか予想を立てさせたいうで、尋ね合わせる。</p> <p>○どんな表現を使えばいいのか確認するためにチャンツを唱えさせ</p>	<p>○1.Listen to the CD 2.Read the sentence slowly</p> <p>○Pair Talk</p> <p>○Let's Chant</p>	<p>◆「得意なこと」についてたずねたり、紹介したりしている。</p> <p><対>得意なことを友達と尋ね合うことで、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>・リズムカルにチャンツをする。</p>

		る。	
	<p>A: This is Hanna. She is my friend. She can dance. She can sing. She is my best friend. Best friend!</p> <p>B: This is Kazuya. He is my friend. He is good at yo-yo. He is my best friend. Best friend!</p>		
ま	⑨ 振り返りを書き, 発表する。		○Reflection
と			
め	⑩ 挨拶をする。		○Greeting

(2) 本時の板書計画

My Hero ゴール: 自分にとってのヒーローを Tiashanna 先生に発表しよう。 September 17th

Thursday

⑨ 得意なことを伝えるには?

Hero

Teacher's Hero

Who is your Hero?

He

She

動作の単語カード

単元の流れ

(3) 本時のワークシート

(表)

My Hero

September

START					GOAL
スタート	My Hero				
① 得意なことを伝えるには？	②	③	④	⑤	⑥ スピーチをしよう

★ふりかえり★

きょうの外国語科の授業は楽しかったですか。	はい	まあまあ	いいえ
得意なことを伝え合うことができましたか。	はい	まあまあ	いいえ
次の外国語科の授業が楽しみですか。	はい	まあまあ	いいえ
分かった事を書きましょう			

① 英語のことや世界こと

- ○○のことを 英語では ~ということが分かった。
- 英語で~というのは、○○な時につかうということが分かった。
- 日本ではこうだけど、外国ではこうなんだと分かった。

② それ以外のこと

- (めあての達成) ○○ができるようになった。○○がまだうまく言えない。
ゴールに向けてここまでできた。
- (自分の成長) 前は~だったけど、今日は~できるようになった。
- (友だちのいいところ) ○○さんの意見のおかげで~だと分かった。
- (次にしたいこと) ここまでできたから、次はこうしてみたい。
これができなかったから、次はできるようになりたい。
この場面でこのえい語を使ってみたい。
- (ぎもん) こんなとき、どう言うのかな。
この言い方が分からなかったからもう一度聞きたい。

(裏)

Let's Listen

1

登場人物が、何が得意かを聞いて、線で結ぼう。



1



Satoshi



2



Laksh



3



John



(We Can! 1 p.68 Let's Listen1)